



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 大崎電気工業株式会社
コード番号 6644 URL <http://www.osaki.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役会長 (氏名) 渡邊 佳英

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営戦略室長 (氏名) 高野 澄雄

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-3443-9133

平成23年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	21,360	4.3	1,346	5.9	1,485	2.9	899	102.2
23年3月期第2四半期	20,487	△9.0	1,271	26.4	1,443	27.8	444	81.5

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 894百万円 (164.0%) 23年3月期第2四半期 338百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	24.42	22.38
23年3月期第2四半期	11.89	10.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	58,072	35,401	41.8
23年3月期	63,051	39,301	39.7

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 24,250百万円 23年3月期 25,031百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	4.4	2,800	△26.8	3,000	△27.8	1,800	76.4	48.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	38,550,684 株	23年3月期	38,550,684 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	2,899,143 株	23年3月期	1,132,183 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	36,834,210 株	23年3月期2Q	37,422,897 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、持ち直しかけていた景気が3月11日に発生した東日本大震災の影響により減速し、厳しい状況にありました。回復に向けた動きは徐々にみられるものの、電力供給の制約や原子力災害、海外景気の下振れ、相次ぐ自然災害等リスク要因は多く、先行きが懸念されております。

当社グループの経営環境は、計測制御機器事業では、主力取引先である電力会社が震災の影響を大きく受けております。直接被災した電力会社以外にも原子力発電所の再稼働問題を抱える等、混沌とした状況が続いております。電力会社向け製品の受注環境への影響が懸念される中、メーカー間の競合による製品価格の低下等厳しい状況が継続しております。一方、FPD（フラットパネルディスプレイ）関連装置事業におきましては、主要顧客が属するデジタル家電業界において新規の投資が抑制される状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは販売促進活動ならびに原価低減活動を推進するなど売上拡大と経営効率化に取り組み、全社をあげて業績の向上に努めてまいりました。

連結売上高につきましては、FPD関連装置事業で減少しましたが、計測制御機器事業において、震災の影響による復興需要等により増加し、前年同期比4.3%増の213億6千万円となりました。

利益面につきましては、計測制御機器事業において、売上高の増加および操業度の向上等の要因により前年同期の水準を上回りました。この結果、営業利益は前年同期比5.9%増の13億4千6百万円、経常利益は前年同期比2.9%増の14億8千5百万円となりました。四半期純利益は、子会社が実施した自己株式取得方式による減資により親会社に税法上のみなし配当および譲渡損が発生したことで法人税等が減少したこと等により、前年同期比102.2%増の8億9千9百万円となりました。

(当社グループのセグメント別概況)

(計測制御機器事業)

当事業は、厳しい事業環境ではありましたが、売上が拡大している電力会社向けの新型電子式電力量計の他に、震災の影響による仮設住宅等の復興需要、節電のための設備変更等に対応する形で従来型の電力量計および電流制限器の売上高が増加しました。また、節電対応として省エネルギー関連機器の売上も好調に推移しております。この結果、売上高は前年同期比7.2%増の201億1千8百万円、営業利益は前年同期比12.9%増の13億2千7百万円となりました。

(FPD関連装置事業)

当事業は、FPD関連装置は引き続き設備投資抑制の影響を受けております。また、当初、第2四半期に売上計上を見込んでいた物件の一部が第3四半期以降にずれ込みました。この結果、売上高は前年同期比29.9%減の10億7千9百万円、営業損失は前年同期比7千6百万円増の7千7百万円となりました。

(不動産事業)

当事業の売上高は前年同期比2.0%減の2億3千4百万円、営業利益は前年同期比6.7%増の9千5百万円となりました。

なお、セグメント別売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高7千1百万円を含めて表示しております。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産、負債、純資産および自己資本比率の状況

総資産	58,072百万円	(前期末比	4,978百万円減)
負債	22,670百万円	(同	1,079百万円減)
純資産	35,401百万円	(同	3,899百万円減)
自己資本比率	41.8%	(同	2.1ポイント増)

当第2四半期末における総資産は、現金及び預金が14億3千3百万円、たな卸資産が21億4千万円それぞれ増加しましたが、預け金が54億1千4百万円、受取手形及び売掛金が26億8百万円それぞれ減少したこと等により、前期末と比較して49億7千8百万円減少し、580億7千2百万円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金が1億6千3百万円、未払法人税等が5億4千万円、固定負債の「その他」が1億7千9百万円それぞれ減少したこと等により、前期末と比較して10億7千9百万円減少し、226億7千万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加6億7千5百万円、自己株式の増加13億4千2百万円、少数株主持分の減少31億7千1百万円等により、前期末と比較して38億9千9百万円減少し、354億1百万円となりました。

なお、自己資本比率は、前期末と比較して2.1ポイント増加し、41.8%となりました。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間における業績の進捗を勘案し、平成23年5月12日に公表、平成23年8月11日に修正した平成24年3月期の連結業績予想を修正いたしました。詳しくは、平成23年10月27日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,912	7,346
預け金	7,285	1,870
受取手形及び売掛金	11,490	8,881
商品及び製品	1,911	2,650
仕掛品	2,190	3,186
原材料及び貯蔵品	2,115	2,520
その他	1,981	2,591
貸倒引当金	△54	△117
流動資産合計	32,833	28,930
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,823	6,708
土地	12,236	12,246
その他(純額)	3,202	3,456
有形固定資産合計	22,261	22,411
無形固定資産	534	519
投資その他の資産		
投資有価証券	3,300	3,079
その他	4,128	3,139
貸倒引当金	△7	△8
投資その他の資産合計	7,422	6,209
固定資産合計	30,218	29,141
資産合計	63,051	58,072

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,181	5,017
短期借入金	1,784	1,718
1年内償還予定の社債	4,500	4,500
未払法人税等	823	283
賞与引当金	1,267	1,276
役員賞与引当金	15	—
製品保証引当金	26	23
その他	2,671	2,686
流動負債合計	16,270	15,505
固定負債		
長期借入金	505	415
退職給付引当金	1,193	1,271
役員退職慰労引当金	226	181
負ののれん	936	858
繰延税金負債	2,409	2,409
その他	2,208	2,028
固定負債合計	7,479	7,165
負債合計	23,749	22,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,686	4,686
資本剰余金	4,770	4,775
利益剰余金	16,685	17,360
自己株式	△505	△1,847
株主資本合計	25,637	24,974
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△117	△248
為替換算調整勘定	△487	△476
その他の包括利益累計額合計	△605	△724
新株予約権	138	191
少数株主持分	14,131	10,959
純資産合計	39,301	35,401
負債純資産合計	63,051	58,072

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	20,487	21,360
売上原価	14,672	15,385
売上総利益	5,815	5,975
販売費及び一般管理費	4,543	4,628
営業利益	1,271	1,346
営業外収益		
受取利息	18	16
受取配当金	58	90
負ののれん償却額	78	78
その他	76	40
営業外収益合計	230	226
営業外費用		
支払利息	26	19
為替差損	11	11
コミットメントフィー	8	37
その他	11	18
営業外費用合計	58	87
経常利益	1,443	1,485
特別利益		
会員権売却益	0	17
貸倒引当金戻入額	6	—
特別利益合計	7	17
特別損失		
固定資産売却損	—	20
固定資産除却損	10	55
投資有価証券評価損	—	157
会員権評価損	—	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	154	—
特別損失合計	164	237
税金等調整前四半期純利益	1,285	1,264
法人税、住民税及び事業税	560	236
法人税等調整額	46	14
法人税等合計	606	250
少数株主損益調整前四半期純利益	678	1,014
少数株主利益	233	114
四半期純利益	444	899

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	678	1,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△339	△133
為替換算調整勘定	△0	13
その他の包括利益合計	△340	△120
四半期包括利益	338	894
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	108	780
少数株主に係る四半期包括利益	230	113

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測制御 機器事業	FPD関連 装置事業	不動産 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,763	1,539	184	20,487	—	20,487
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	—	55	66	△66	—
計	18,774	1,539	239	20,554	△66	20,487
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	1,176	△0	89	1,265	6	1,271

(注) セグメント利益又は損失の調整額は、貸倒引当金繰入額の調整額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測制御 機器事業	FPD関連 装置事業	不動産 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,103	1,079	177	21,360	—	21,360
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	—	57	71	△71	—
計	20,118	1,079	234	21,432	△71	21,360
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	1,327	△77	95	1,346	—	1,346

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年8月17日開催の取締役会決議に基づき、8月18日に自己株式の取得を行いました。この取得などにより、自己株式は当第2四半期連結累計期間にて1,342百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において1,847百万円となっております。